

元事務局長 片岡弘さんを偲ぶ

吉田 武雄

片岡弘さんが今年1月享年95で亡くなりました。片岡さんは創立総会（1984年12月）の議長を務めるなど、研究所の創立に始めからかかわった一員でした。かかわる前は小学校教員として「作文の会」など民間教育研究運動や教職員組合の教研活動に活躍していました。木村隆利事務局長の後を継ぎ創立20周年まで数年、事務局長を務めました。

小誌の編集には常に几帳面に整理され、その柱の役でした。それは所員となった後も続きました。また教員の長時間労働の問題には新潟大学の教員の協力を得て、最初の調査をなす中心になりました。その他多数の論考を小誌に発表しています。

彼は、旧制中学時代は学徒動員で軍事工場に働き、卒業後は東京の大学で学びました。都会的センスを身に着け、全国的な研究会などで一緒した際に多くの

ことを学ぶことができました。

彼は多彩な人でした。「日本民主主義文学会」に所属して小説ではその機関誌「民主文学」に入選されたこともあり、地元でも活躍していました。年賀状にはきつと自作の俳句が添えられていました。

また油絵をよくして、彼の家の玄関には大きな創作がかけられています。坂町のお宅を編集の仕事場としてお借りして、お邪魔したときは芳醇なコーヒを淹れてくださったのも思い出です。

坂町から新潟へ向かう電車には特急を使われていましたが、その料金は請求しないで、自己負担にしています。

改めて研究所へのご尽力に感謝して、ご冥福をお祈りするばかりです。

（よしだ たけお 元所員）